



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月7日

上場会社名 株式会社 ユー・エス・エス 上場取引所 東・名
 コード番号 4732 URL http://www.ussnet.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 安藤 之弘
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役統括本部長 (氏名) 山中 雅文 TEL 052-689-1129
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	15,684	△0.9	7,120	2.9	7,166	1.8	4,374	5.1
24年3月期第1四半期	15,829	3.1	6,921	12.5	7,041	15.5	4,161	28.3

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 4,324百万円 (3.4%) 24年3月期第1四半期 4,183百万円 (26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	160.15	159.85
24年3月期第1四半期	145.20	145.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	150,031	121,815	80.9
24年3月期	154,639	121,097	78.0

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 121,308百万円 24年3月期 120,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	110.00	—	134.00	244.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		161.50	—	131.50	293.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 平成25年3月期第2四半期末配当金(予想)の内訳 普通配当 131円50銭 記念配当 30円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,800	1.2	14,000	5.2	14,100	5.1	8,650	9.0	316.65
通期	65,000	1.5	29,000	3.7	29,250	2.3	17,950	5.2	657.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	31,325,000株	24年3月期	31,325,000株
25年3月期1Q	4,123,551株	24年3月期	4,128,021株
25年3月期1Q	27,316,959株	24年3月期1Q	28,659,192株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 平成24年3月期の期末自己株式数には119,980株、平成25年3月期第1Qの期末自己株式数には115,510株、U S S従業員持株会専用信託が所有する株式が含まれております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

国内における自動車流通市場は、東日本大震災の影響による国内自動車生産の停滞により、前年同期の新車登録台数が大幅に減少したのに対し、当第1四半期連結累計期間は、平成23年12月に復活したエコカー補助金の影響もあり、新車登録台数は1,259千台（前年同期比62.6%増）と大幅に増加し、新車買い替え時の下取りや買取りにより発生する中古車も増加したことなどから、中古車登録台数は1,658千台（前年同期比6.8%増）となりました。

（社）日本自動車販売協会連合会、（社）全国軽自動車協会連合会調べ

オートオークション市場につきましても、中古車流通台数増加の影響を受け、出品台数は1,915千台（前年同期比28.2%増）、成約台数は1,034千台（前年同期比7.9%増）、成約率は54.0%（前年同期実績64.2%）となりました。（月刊ユーストカー調べ）

このような経営環境のなか、U S Sグループの当第1四半期連結累計期間は、売上高15,684百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益7,120百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益7,166百万円（前年同期比1.8%増）となり、四半期純利益は4,374百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

オートオークション

オートオークション事業は、平成23年12月に復活したエコカー補助金の影響により新車販売が好調に推移し、発生する中古車も増加したことなどから、出品台数596千台（前年同期比17.2%増）、成約台数344千台（前年同期比2.8%減）、成約率57.8%（前年同期実績69.7%）となりました。

オートオークション事業における手数料収入は、出品台数が大幅に増加したことや、外部落札比率の上昇、インターネット外部落札システムによる落札手数料の値上げなどにより増加しました。また、営業費用については、減価償却費などが大幅に減少しました。

この結果、オートオークション事業は、外部顧客に対する売上高11,583百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益7,007百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

中古自動車等買取販売

中古自動車買取専門店「ラビット」および事故現状車買取販売事業は、前年同期が、東日本大震災の影響による新車販売不振により、発生する中古車が減少傾向となるなか、震災の復旧需要や新車の代替需要が旺盛であったことから需給バランスが逼迫し、オートオークション相場は高水準に推移しました。

これにより、当事業においても、前年同期は、台当たり粗利益が大幅に増加したことなどから好業績となりましたが、当第1四半期連結累計期間は、買取台数が大幅に減少したことに加え、オートオークション相場も下落傾向となったことから台当たり粗利益が悪化し減収減益となりました。

この結果、中古自動車等買取販売事業は、外部顧客に対する売上高2,696百万円（前年同期比15.1%減）、営業利益68百万円（前年同期比76.1%減）となりました。

その他

廃自動車等のリサイクル事業は、鉄スクラップ等の資源相場が下落傾向となり、売上高が減少したことに加え、営業費用も増加したことなどから営業損失となりました。

廃ゴムのリサイクル事業は、高付加価値製品である弾性舗装用ゴム製品の取扱量が増加したことに加え、減価償却費が減少したことなどから増収増益となりました。

中古自動車の輸出手続代行サービス事業は、取扱台数が順調に推移したことなどから、昨年7月の開業後、四半期決算としてはじめて営業損益が黒字に転じました。

この結果、その他の事業は、外部顧客に対する売上高1,404百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益13百万円（前年同期比82.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は150,031百万円となり、前連結会計年度末と比較して4,608百万円減少しました。これは、現金及び預金が2,102百万円減少したことや、オークション貸勘定が1,724百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は28,216百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,325百万円減少しました。これは、オークション借勘定が1,750百万円減少したことや未払法人税等が4,220百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は121,815百万円となり、前連結会計年度末と比較して717百万円増加しました。これは、利益剰余金が730百万円増加したことなどによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,402百万円減少し、26,137百万円となりました。なお、当第1四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,636百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,160百万円（前年同期比1.4%増）、減価償却費及びその他の償却費855百万円（前年同期比13.6%減）、法人税等の支払額6,987百万円（前年同期比25.1%増）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は358百万円となりました。これは主に、定期預金の純増減による支出300百万円（前年同期実績、純増減による収入700百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は3,681百万円となりました。これは主に、配当金の支払額3,644百万円（前年同期比24.6%増）によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、想定する範囲内で推移しており、前回公表（平成24年5月8日発表）の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,840	34,737
オークション貸勘定	11,635	9,910
受取手形及び売掛金	2,734	2,384
有価証券	100	—
たな卸資産	962	882
その他	1,522	2,059
貸倒引当金	△63	△55
流動資産合計	53,731	49,919
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,762	29,178
土地	58,873	58,184
建設仮勘定	9	10
その他（純額）	2,328	2,136
有形固定資産合計	90,974	89,510
無形固定資産		
のれん	17	20
その他	847	806
無形固定資産合計	865	827
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,156	9,865
貸倒引当金	△87	△92
投資その他の資産合計	9,068	9,773
固定資産合計	100,908	100,111
資産合計	154,639	150,031
負債の部		
流動負債		
オークション借勘定	13,154	11,404
支払手形及び買掛金	560	453
短期借入金	93	93
未払法人税等	5,900	1,680
引当金	534	828
その他	6,083	6,651
流動負債合計	26,326	21,110
固定負債		
長期借入金	1,174	1,150
引当金	155	52
資産除去債務	683	685
その他	5,202	5,216
固定負債合計	7,215	7,105
負債合計	33,541	28,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,881	18,881
資本剰余金	18,972	18,972
利益剰余金	115,066	115,797
自己株式	△27,110	△27,074
株主資本合計	125,809	126,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93	52
土地再評価差額金	△5,320	△5,320
その他の包括利益累計額合計	△5,227	△5,268
新株予約権	230	230
少数株主持分	284	276
純資産合計	121,097	121,815
負債純資産合計	154,639	150,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	15,829	15,684
売上原価	6,464	6,218
売上総利益	9,365	9,465
販売費及び一般管理費	2,444	2,345
営業利益	6,921	7,120
営業外収益		
受取利息	3	4
不動産賃貸料	42	95
複合金融商品評価益	39	—
雑収入	43	38
営業外収益合計	128	138
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸原価	3	15
複合金融商品評価損	—	66
雑損失	3	7
営業外費用合計	8	91
経常利益	7,041	7,166
特別利益		
固定資産売却益	23	1
特別利益合計	23	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	5	7
その他	1	—
特別損失合計	6	7
税金等調整前四半期純利益	7,058	7,160
法人税等	2,867	2,794
少数株主損益調整前四半期純利益	4,190	4,366
少数株主利益又は少数株主損失(△)	28	△8
四半期純利益	4,161	4,374

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,190	4,366
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△41
その他の包括利益合計	△6	△41
四半期包括利益	4,183	4,324
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,155	4,333
少数株主に係る四半期包括利益	28	△8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,058	7,160
減価償却費及びその他の償却費	990	855
のれん償却額	22	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	233	293
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9	△103
受取利息及び受取配当金	△3	△4
支払利息	1	1
複合金融商品評価損益 (△は益)	△39	66
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△17	5
オークション勘定の増減額	96	△25
売上債権の増減額 (△は増加)	344	349
仕入債務の増減額 (△は減少)	△112	△106
預り金の増減額 (△は減少)	471	667
その他	△423	△529
小計	8,627	8,623
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△5,586	△6,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,043	1,636
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	700	△300
有形固定資産の取得による支出	△127	△103
有形固定資産の売却による収入	48	3
無形固定資産の取得による支出	△28	△37
投資有価証券の取得による支出	△157	—
投資有価証券の償還による収入	—	100
長期前払費用の取得による支出	△5	△5
関係会社株式の取得による支出	△268	—
その他	2	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	163	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	50	—
長期借入金の返済による支出	△49	△23
預り保証金の預りによる収入	56	70
預り保証金の返還による支出	△23	△22
自己株式の取得による支出	△3,078	—
自己株式の売却による収入	—	36
配当金の支払額	△2,924	△3,644
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△79	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,049	△3,681
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,841	△2,402
現金及び現金同等物の期首残高	29,280	28,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,438	26,137

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,195	3,175	14,371	1,458	15,829	—	15,829
セグメント間の 内部売上高または 振替高	138	0	138	0	139	△139	—
計	11,334	3,175	14,509	1,459	15,968	△139	15,829
セグメント利益	6,532	285	6,817	75	6,892	28	6,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビズの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社U S S 東洋の廃ゴムのリサイクル事業および株式会社U S S ロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

2. セグメント利益の調整額28百万円には、セグメント間取引消去28百万円、のれんの償却額0百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	オートオー クシオン	中古自動 車等買取 販売	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,583	2,696	14,279	1,404	15,684	—	15,684
セグメント間の内部売上高または振替高	112	0	112	1	113	△113	—
計	11,695	2,696	14,392	1,405	15,798	△113	15,684
セグメント利益	7,007	68	7,075	13	7,088	31	7,120

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社アビツの廃自動車等のリサイクル事業と株式会社カークエストの廃ゴムのリサイクル事業および株式会社USSロジスティクス・インターナショナル・サービスの中古自動車の輸出手続代行サービス事業であります。

なお、株式会社USS東洋は平成24年2月1日付で株式会社カークエストを吸収合併し同日付で株式会社カークエストに商号変更いたしました。

2. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 業績

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
売上高	158	156	△0.9	650
営業利益	69	71	2.9	290
経常利益	70	71	1.8	292
当期純利益	41	43	5.1	179

(2) セグメント別営業収益

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
《オートオークション》				
出品手数料	27	31	14.4	124
成約手数料	27	26	△3.5	108
落札手数料	37	37	1.8	154
商品売上高	2	2	△10.6	4
その他の営業収入	16	17	2.7	69
オートオークション計	111	115	3.5	461
《中古自動車等買取販売》				
中古自動車買取販売	20	18	△10.1	87
事故現状車買取販売	10	8	△24.5	39
中古自動車等買取販売計	31	26	△15.1	126
《その他》				
廃自動車等のリサイクル	12	10	△15.1	44
廃ゴムのリサイクル	2	2	9.9	13
中古自動車の輸出手続 代行サービス	0	1	5,377.7	3
その他計	14	14	△3.7	62
合計	158	156	△0.9	650

(3) 設備投資額、減価償却費

(連結業績)

(単位：億円)

	24年3月期	25年3月期		
	第1四半期	第1四半期	増減率(%)	通期予想
設備投資額				
支出ベース	1	1	△9.6	55
完工ベース	1	2	32.9	20
減価償却費	9	8	△14.1	33